

平成30年度

# 学生募集要項

● 一般入試

● センター利用入試

## 目次

■ 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー) …	1
■ 入試日程 ……………	3
■ 入学検定料・出願に必要な書類 ……………	4
■ 受験票・写真票、個人情報保護、 出身高等学校への入試結果通知 ……………	5
■ 出願資格 ……………	6
■ 1. 一般入試A (2教科型・プラスセンター型) ……………	7
■ 2. 一般入試B (1教科型・プラスセンター型・2教科型) …	11
■ 3. 一般入試B (小論文型) ……………	13
■ 4. センター利用入試A ……………	14
■ 5. センター利用入試B ……………	17
■ 6. 受験上の注意 ……………	20
■ 7. 合格発表・合否案内サービス ……………	21
■ 8. 入学手続について ……………	22
■ アクセスマップ	

## 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

椋山女学園大学は、本学の教育理念「人間になろう」の下、次のような目標と能力を持ち、大学で得た知性と教養を活かし、「人を大切に、人と支えあい、自らががんばれる人」となるための教育を目指します。このような教育方針に共感する人であって、次のような意欲・能力を持った人を受け入れます。

1. 大学での学びを通じ、目的や目標を持てる人  
 学びたい専門分野・領域、研究テーマがある人、将来社会に出てやりたいことや仕事がある人、取り組んでみたい課外活動や社会活動・ボランティア活動がある人
2. 大学で学ぶための基礎学力を有する人  
 学習の基盤となる国語、数学、外国語及び各学部学科が必要とする教科について一定基準以上の基礎学力（知識・理解）を有する人
3. 自分の能力を高めたい人  
 自ら考え（思考力）、決定し（判断力）、それを伝える（表現力・コミュニケーション力）能力を高め、自己を成長させることができる人
4. 主体性を持って多様な人と協同して学べる人  
 授業以外にも、生徒会活動、課外活動（スポーツ、文化など）及び社会活動（ボランティア、地域交流、国際交流など）に積極的に参加してきた人で、その経験を大学での学びに生かせる人

学部・学科名	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
生活科学部	生活科学部では、生活の中の身近な科学、すなわち、衣・食・住のいずれかに携わる職業人を輩出するという明確な方針に基づき、その教育目標を十分に理解し、それに相応しい基礎力を有する人を受け入れます。
生活科学部 管理栄養学科	管理栄養学科は、将来「食と健康」を基盤とする保健・医療・福祉、食育及び食品関連分野などの専門領域で活躍できる人を望んでいます。これらの分野の仕事に管理栄養士として従事し、社会貢献したいという目的意識と勉学意欲を持ち、「化学基礎」と「生物基礎」を含む基礎学力を有する次のような人を受け入れます。 1. 本学科の目的を理解し、向上心が旺盛で学びに意欲的な人 2. 「食と健康」分野に関心が高く、学んだ知識と技術で社会貢献したい人 3. 人間性が豊かで、自身の成長、周囲との和と協働に努められる人
生活科学部 生活環境デザイン学科	生活環境デザイン学科では、本学科の専門領域を学習するための基礎学力を有し、感性的表現力、あるいはコミュニケーション能力、理系能力などに優れている人を受け入れます。本学科では、生活環境を構成するアパレルメディア、インテリア・プロダクト、建築・住居の各分野に関連した「ものづくり」について、生活者・消費者の視点から科学的に探求し、それを具体的なデザインとして提案・実践する力を養成しますので、高等学校においては、文系、理系を問わず、できるだけ多くの科目を履修しておくことが望まれます。
国際コミュニケーション学部	国際コミュニケーション学部では、「ことば」に対する基本的関心を前提として、言語及び文学や芸術などのさまざまな文化に関心があり、コミュニケーション能力を高めたいと考える次のような人を受け入れます。 1. 一定の基礎学力があり、将来への明確な目的を持つ人 2. 「ことば」を中心としたコミュニケーション能力の向上に関心を持つ人 3. グローバルな社会における「ことば」と文化を深く理解し、論理的思考、問題発見・解決能力、自己表現力の向上に関心を持つ人
国際コミュニケーション学部 国際言語コミュニケーション学科	国際言語コミュニケーション学科では、一定の基礎学力を有し、将来への明確な目的意識を持つことのできる人で、外国語や異文化に高い関心を持ち、コミュニケーションに積極的な姿勢を持っている人を受け入れます。とりわけ、外国語や異文化に対して、多角的な視点から自分のテーマを発見し追求していける人、集中力を持って意欲的に勉学に取り組む人を望みます。本学科での学修に際して必要とされる基礎学力として、高等学校において実用英語技能検定2級程度、ないしはそれと同等の英語運用能力を有することを求めます。
国際コミュニケーション学部 表現文化学科	表現文化学科では、一定の基礎学力を有し、将来、コミュニケーション能力や表現力、文化的素養等を生かしつつ社会に貢献できる人を望んでいます。そのため、国内外を問わず、古代から現代まで幅広い文化や表現に深い関心を持ち、それらを深く学ぶ勉学意欲にあふれ、その知識をバックボーンとしたコミュニケーション能力を身に付けることに強い意欲を有する、好奇心旺盛な人を受け入れます。入学後、専門的な授業内容を理解するために、高等学校においては「国語」「英語」「日本史」「世界史」等を中心とした文系科目をしっかりと学習しておくことが望まれます。
人間関係学部	人間関係学部は、人間と人間関係及び人間の心理に関する専門の学術を学際的かつ総合的に教授研究します。本学部は、広範な知識、総合的な判断力及び深い洞察力を有し、人間と人間関係及び心理に関する諸問題を解明・解決することができる高度な人間関係を備えた人材を養成します。本学部では以上の目的を共有する強い学習意欲のある人を受け入れます。

学部・学科名	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
人間関係学部 人間関係学科	<p>人間関係学科では、教育上の目的を実現するために、授業科目を履修する上で必要な基礎的な能力及び学習意欲を持ち、さらに以下の能力関心を持った人を受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分自身や自分の周囲の人との人間関係やそれを取り巻く社会に強い関心を持っていること</li> <li>2. 自分から問題や課題を発見しその解決に取り組もうとする積極的な意欲や態度を持っていること</li> <li>3. 高校までの勉学を通して、学習の場でのコミュニケーションに必要な理解力と表現力を身に付けていること</li> </ol>
人間関係学部 心理学科	<p>心理学科では、教育上の目的を実現するために、授業科目を履修する上で必要な基礎的な能力及び学習意欲を持ち、さらに以下の能力関心を持った人を受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間や人間関係に強い関心を持ち、人間のこころについて強い関心を持っていること</li> <li>2. 心理学に強い関心があり、そのなかで課題を発見し解決しようとする積極的な意欲や態度を持っていること</li> <li>3. 高校までの勉学を通して、基礎学力を身に付け、心理学的な事象に対する知識を活用して判断し、主体的にコミュニケーションする能力を持っていること</li> </ol>
文化情報学部	<p>文化情報学部では、本学の教育理念「人間になろう」についての深い関心のもと、大学教育を受けるための基礎学力を有し、高度に進展しつつある情報化と国際化の社会状況の中で、文化に関心を持ち、社会の発展に貢献しようという意欲のある人を受け入れます。具体的には、次のような人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間や社会、文化に関わる様々な事柄に対して関心を持ち、広く学際的な知識を修得したいと考える人</li> <li>2. 人間や社会、文化に関わる事柄を論理的、科学的に分析・考察し、自分の意見を持ち、表現する能力を修得したいと考える人</li> <li>3. 自国の文化と異文化への理解に関心を持ち、異文化とのコミュニケーションをはかれる教養と能力を修得したいと考える人</li> <li>4. 外国語の能力や情報関連の知識と技能を活用して社会で活かしたいと考える人</li> <li>5. 社会人としてふさわしい知識と教養を持ち、21世紀に生きる人間として必要な基礎的な能力、対人関係能力を修得したいと考える人</li> <li>6. 大学教育を受けるための基礎的な学力を有している人</li> </ol>
文化情報学部 文化情報学科	<p>文化情報学科では、文化や社会、人間に関するさまざまな事象に関心を持ちながら、情報の視点から人間と社会や文化との新しい豊かな関係を考えていきます。情報化が急激に進む現代社会を生きるには、情報を自在に活用できる力を身に付け、幅広い知識と豊かな教養や感性、そして、それらを表現する能力が必要となります。</p> <p>そのため、本学科では、「文化・アーカイブス」「アジア・地域・ツーリズム」「社会・ネットワーク」「情報・コンピューティング」の4つの領域を総合的に学ぶとともに、時間をかけて興味関心を絞り込みながら、情報社会を支える情報通信ネットワークの基礎となる手段や方法の科学的理解に基づいた考え方を修得することもできます。これらの学びを有意義なものにするには、高等学校において、「国語」「数学」「英語」を中心とした基礎的な学力とコミュニケーション能力を身に付けるとともに、知的な好奇心と将来への夢を持ち、さらに自ら学ぶ姿勢と論理的な思考力を身に付けていることが望まれます。</p>
文化情報学部 メディア情報学科	<p>メディア情報学科では、メディアからもたらされる情報を的確に選択、分析、論評し、それらを活用できる能力、また、急速に変化する情報化社会が抱える様々な問題に対処できる能力の修得を目標としていますので、広くメディア及び情報に関心を持ち、メディアと情報が人間と社会に及ぼす影響について学びたい人を受け入れます。</p> <p>本学科での学修を達成するためには、高等学校では「国語」「数学」「英語」といった基礎的な科目の学習を中心にして、文系・理系いずれかの科目でもよいので、自身が関心を持った内容に自ら積極的に取り組んだ経験があることが望まれます。</p>
現代マネジメント学部 現代マネジメント学科	<p>現代マネジメント学部では、現代社会における様々な事象に関心を持ち、社会科学（経営・経済・法律・政治）に関する専門知識を修得し、将来、「企業」「地域・公共」「国際」のいずれかの分野においてマネジメント能力を活用できるような職業に就きたいと考えている人を受け入れます。本学部が考えるマネジメント力とは、企業の経営に限ったものではなく、社会生活において発生する問題を解決する能力をいいます。本学部がマネジメント力を付けてもらうために用意するカリキュラムは、高校時代に社会科学に関する科目（「地理」「世界史」「日本史」「現代社会」「倫理」「政治経済」）を履修していることはもちろんのこと、コミュニケーションをとるための「国語」「英語」、情報を分析するための「数学」、これらカリキュラムの範囲内で履修していることが望まれます。</p>
教育学部 子ども発達学科	<p>教育学部は、教員・保育者として社会に貢献でき、また、生涯に渡って学び、成長し続けられる人材を育てることを目的としています。本学部ではこの目的を理解する、次のような人を受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもや教育に関心を持ち、教員・保育者を志す人</li> <li>2. 本学教育学部での学びの基礎となる、高等学校までの学習内容を修得している人</li> <li>3. 数学の教員免許状（中学校・高等学校）の取得を希望する者は、「数学Ⅱ・数学B」の内容の習得、できれば「数学Ⅲ」の履修</li> <li>4. 音楽の教員免許状（中学校・高等学校）の取得を希望する者は、楽典の基礎及びピアノの基礎技能の修得</li> </ol>
看護学部 看護学科	<p>看護学部では、豊かな人間性と確かな実践力を有する看護職者を育成することを目指します。入学生には、人間に対する積極的な関心を持ち、地域社会に貢献したいという意欲のある人を受け入れます。看護職者は、多様な対象者の幅広いニーズに応え、適切な支援を行う専門職です。このためには、自己研鑽を続けることができること、さらには、周囲と協調し、チーム医療等の調整役としての高度なコミュニケーション能力を育むことが求められます。本学部入学生に求める基礎学力は、コミュニケーション能力の基本となる「国語」「英語」、そして、論理的思考力の育成及び医学的基礎を理解する「数学」「理科」です。</p>

## 入試日程

### ■A日程

入試区分	学部学科		出願期間 [注1]	試験日	試験場	合格発表	第1次 入学手続 締切日	第2次 入学手続 期間 [注2]
一般入試A	全学部	全学科	平成30年 1月5日(金)~ 1月22日(月)	平成30年 2月3日(土)	星が丘・浜松 津・岐阜	平成30年 2月13日(火)	平成30年 2月22日(木)	平成30年 3月12日(月)~ 3月23日(金)
				平成30年 2月4日(日)	星が丘			
				平成30年 2月5日(月)	星が丘			
センター 利用入試A	全学部	全学科	平成30年 1月5日(金)~ 1月26日(金)	—	—	平成30年 2月13日(火)	平成30年 2月22日(木)	平成30年 3月12日(月)~ 3月23日(金)

### ■B日程

入試区分	学部学科		出願期間 [注1]	試験日	試験場	合格発表	第1次 入学手続 締切日	第2次 入学手続 期間 [注2]
一般入試B (教科型)	全学部	全学科	平成30年 2月13日(火)~ 2月22日(木)	平成30年 3月3日(土)	星が丘	平成30年 3月9日(金)	平成30年 3月16日(金)	平成30年 3月12日(月)~ 3月23日(金)
一般入試B (小論文型)	国際コミュニ ケーション学部	表現文化学科		平成30年 3月5日(月)				
センター 利用入試B	全学部	全学科	平成30年 2月13日(火)~ 2月23日(金)	—	—	平成30年 3月9日(金)	平成30年 3月16日(金)	平成30年 3月12日(月)~ 3月23日(金)

[注1] 出願期間

郵送の場合 出願締切日消印有効

入学センター窓口持参の場合 出願締切日の翌日13時まで

[注2] 第2次入学手続期間

郵送の場合 入学手続締切日消印有効

入学センター窓口持参の場合 入学手続締切日の翌日15時まで

## 入学検定料

### 一般入試A 併願するごとに+5,000円

1出願	2出願	3出願	4出願	5出願	6出願
30,000円	35,000円	40,000円	45,000円	50,000円	55,000円

※一般入試A(プラスセンター型)の看護学科においては最大3出願まで出願可能です。

※一般入試A(2教科型)の国際コミュニケーション学部における第2志望制度による検定料の追加はありません。

### 一般入試B(教科型)

1～3出願まで
30,000円

### 一般入試B(小論文型)

1出願のみ
30,000円

※学部内第2志望制度による検定料の追加はありません。

※解答する教科数による検定料の追加はありません。(最大3教科まで出願可能)

※一般入試B(1教科・プラスセンター型・2教科型)と(小論文型)を併願する場合はそれぞれの検定料が必要となります。

### センター利用入試A・センター利用入試B 併願するごとに+5,000円

1出願	2出願	3出願	～	12出願	13出願
15,000円	20,000円	25,000円	～	70,000円	75,000円

※センター利用入試Bでは最大12出願となります。

[注] 上記の入学検定料は、一括で納付した場合のみ適用となります。

入学検定料の支払方法等については、「学生募集ガイド」をご確認ください。

## 出願に必要な書類

以下の書類を簡易書留速達郵便または持参にて提出してください。

簡易書留速達郵便以外(差出記録がない場合)での紛失を理由とした出願締切日以降の出願手続は認めません。

入試区分	出願書類など	Web志願票	調査書	センター試験 成績請求票	写真
			厳封・出願前3ヶ月以内の発行		タテ4cm×ヨコ3cm
一般入試A	2教科型・ プラスセンター型	1部	1通	1枚 (プラスセンター型出願の場合)	受験時 本学から送付する 受験票・写真票に 貼付
一般入試B	1教科型・ プラスセンター型・ 2教科型	1部	1通	1枚 (プラスセンター型出願の場合)	
	小論文型	1部	1通	—	
センター利用入試A		1部	1通	1枚	出願時 Web志願票に貼付
センター利用入試B		1部	1通	1枚	

※Web志願票を印刷する際は、出願数によっては2枚にわたる場合があります。

※調査書はWeb志願票1部につき1通が必要です。一般入試とセンター利用入試を出願する場合、調査書は2通必要となります。

※一般入試のプラスセンター型、センター利用入試を出願する場合は、センター試験成績請求票をWeb志願票の「センター試験成績請求票貼付欄」に貼付してください。

※一般入試Aで受験票に貼付する写真は1日につき1枚(3日間受験の場合は3枚)必要となります。

※コンビニエンスストアで入学検定料支払いの際に受け取った領収書等の添付は必要ありません。ご自身で保管してください。

※高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定を含む)合格者の方は「合格証明書」と「合格成績証明書」を提出してください。

[注] 出願(郵送・窓口提出)後の出願内容はいかなる理由があっても変更できません。

出願書類の提出方法等については、「学生募集ガイド」をご確認ください。

[注] 出願書類の姓名が現在の姓名と異なる場合は、任意の様式で変更の理由を記載したものを出願書類とともに提出してください。場合によっては、証明する書類の提出を依頼することがあります。

[注] Web出願の登録には「住民票」の氏名を入力してください。外国籍の方で、入学後も通称名の使用を希望する場合は、「住民票」記載の通称名を入力してください。



## 受験票・写真票

1. 受験票は、出願受け付け後に順次発送します。試験日の3日前までに届かない場合は、入学センターまで連絡してください。
2. コンピュータ出力しますので、記載内容に誤りが無いか必ず確認してください。誤りがあった場合は入学センターまで連絡してください。
3. 受験票とともに写真票を送付します。受験票と写真票は切り離さず、写真票に写真を貼付し、試験当日必ず持参してください。

写真：上半身・正面・無帽・無背景、サイズ：縦4cm×横3cm、試験日前3か月以内に撮影したもの（白黒、カラー可）。写真裏面に受験番号と氏名を記入してください。

※センター利用入試受験者は写真票への写真貼付は不要です。

4. 氏名に旧字体などが含まれている場合は、表記を常用漢字の代替文字またはカタカナにて対応することがあります。また、一部字体が変更される場合がありますので、ご了承ください。
5. 願書受付処理の都合上、一般入試とセンター利用入試の受験票が別日に届くことがあります。
6. 受験票は合否結果照会の際に必要なになりますので、紛失しないように大切に保管してください。

〈見本〉※デザインは、変更されることがあります。

宛名面	受験票	写真票																				
<p>郵便はがき 速達</p> <p>千種局 料金別納郵便 Sugiyama 入試関係</p> <p>名古屋千種区星が丘元町 17-3</p> <p>楢山 凜 様</p>	<p>受験票</p> <table border="1"> <tr> <td>入試区分</td> <td>〇〇入試</td> </tr> <tr> <td>受験番号</td> <td>***** 氏名 楢山 凜</td> </tr> <tr> <td>志願先</td> <td>〇〇学部 △△学科 □□専修</td> </tr> <tr> <td>試験日</td> <td>平成〇〇年△月〇日 (※) 試験場 星が丘</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 試験当日は、受験票および写真票を必ず持参してください。 2. 試験室では、常に受験票を机上に置いてください。</p>	入試区分	〇〇入試	受験番号	***** 氏名 楢山 凜	志願先	〇〇学部 △△学科 □□専修	試験日	平成〇〇年△月〇日 (※) 試験場 星が丘	<p>写真票</p> <p>写真貼付欄 試験日前 3か月以内の撮影 上半身・正面 無帽・無背景 カラー写真でも可 (縦4cm×横3cm)</p> <p>※ 写真を貼付し、試験当日必ず持参してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>入試区分</td> <td>〇〇入試</td> </tr> <tr> <td>受験番号</td> <td>*****</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>楢山 凜</td> </tr> <tr> <td>志願先</td> <td>〇〇学部 △△学科 □□専修</td> </tr> <tr> <td>試験日</td> <td>平成〇〇年△月〇日 (※)</td> </tr> <tr> <td>試験場</td> <td>星が丘</td> </tr> </table>	入試区分	〇〇入試	受験番号	*****	氏名	楢山 凜	志願先	〇〇学部 △△学科 □□専修	試験日	平成〇〇年△月〇日 (※)	試験場	星が丘
入試区分	〇〇入試																					
受験番号	***** 氏名 楢山 凜																					
志願先	〇〇学部 △△学科 □□専修																					
試験日	平成〇〇年△月〇日 (※) 試験場 星が丘																					
入試区分	〇〇入試																					
受験番号	*****																					
氏名	楢山 凜																					
志願先	〇〇学部 △△学科 □□専修																					
試験日	平成〇〇年△月〇日 (※)																					
試験場	星が丘																					

## 個人情報保護

出願にあたりご提供いただいた個人情報は、「入試の実施に必要な事務処理」、「本人への問い合わせ」および「入試の合否判定」ならびに「合格発表の通知」などに利用します。

なお、合格者の個人情報については、入学後の「学籍基本情報」の一部として利用します。また、個人情報の取扱いについては、法令および本学規程等に従い適切に対応いたします。

詳しくは次の URL を参照してください。 <http://www.sugiyama-u.ac.jp/gakuen/privacy/>

## 出身高等学校への入試結果通知

本学では志願者の出身高等学校に対し、入試結果を通知しています。

各高等学校には、個人情報保護への対応としてデータの取扱いについて守秘をお願いし、利用の目的を「進路指導上の資料」に限定したうえで情報を提供しています。この取扱いに承諾しない場合は、出願の際に申請してください。

## 出願資格

### [一般入試]

次のいずれかの条件をそなえた女子に限ります。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者または平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者または平成30年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者または平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※一般入試A（プラスセンター型）に出願する場合は、「平成30年度大学入試センター試験」のうち、本学が指定した教科・科目を受験した女子に限ります。

※一般入試B（プラスセンター型）で、管理栄養学科に出願する場合は、「平成30年度大学入試センター試験」のうち、本学が利用する「理科」の科目を受験した女子に限ります。

### [センター利用入試]

「平成30年度大学入試センター試験」のうち、本学が利用する教科・科目を受験した女子に限ります。

### [注記事項]

下記に該当する方は、出願期間以前に入学センターにお問い合わせください。

- 学校教育法施行規則第150条第6号または第7号の規定に基づいて出願しようとする者
- 外国の学校等 ①外国において学校教育における12年の課程を修了（見込）した者  
②①に準ずるもので文部科学大臣の指定した者

なお、外国と日本の高等学校両方に在学していた場合は、日本の高等学校の調査書が必要です。

- 文部科学大臣の指定した者

# 1

## 一般入試A（2教科型・プラスセンター型）

- 2教科型とプラスセンター型を併願することができます。（看護学部を除く）
- 同じ試験日に併願可能なのは、同一の学科・専修に限ります。複数の学科・専修を志願する場合は、異なる試験日での出願が必要になります。

### 1. 募集人員

学部・学科・専修		募集人員	
		2教科型	プラスセンター型
生活科学部	管理栄養学科	48名	7名
	生活環境デザイン学科	35名	10名
国際コミュニケーション学部	国際言語コミュニケーション学科	36名	10名
	表現文化学科	35名	5名
人間関係学部	人間関係学科	34名	3名
	心理学科	36名	5名
文化情報学部	文化情報学科	35名	5名
	メディア情報学科	30名	4名
現代マネジメント学部	現代マネジメント学科	50名	15名
教育学部	子ども発達学科／保育・初等教育専修	23名	12名
	子ども発達学科／初等中等教育専修	13名	15名
看護学部	看護学科	—	40名

### 2. 入試日程・試験場・試験時間

出願期間	郵送 平成30年1月5日(金)～1月22日(月) 締切日消印有効 窓口受付 平成30年1月5日(金)～1月23日(火) 入学センター <b>【窓口受付時間】</b> 平日9時～17時、土曜日9時～13時、最終日のみ9時～13時 ※日祝を除く							
試験日 <sup>※1</sup> ・試験場 <sup>※2</sup> および試験時間 <sup>※3※4</sup>	試験日	試験場	星が丘	浜松	津	岐阜	入室時間	試験時間
	平成30年2月3日(土)	○	○	○	○	9:40まで	10:00～12:00	
	平成30年2月4日(日)	○						
平成30年2月5日(月)	○							
合格発表日 P.21参照	平成30年2月13日(火) 10:00							
入学手続 P.22参照	第1次入学手続 (入学金)	200,000円 納付期限 平成30年2月22日(木) 銀行窓口にて振込						
	第2次入学手続 (書類提出)	郵送 平成30年3月12日(月)～3月23日(金) 締切日消印有効 窓口受付 平成30年3月12日(月)～3月24日(土) 入学センター <b>【窓口受付時間】</b> 平日9時～17時、土曜日9時～13時、 最終日のみ9時～15時 ※日祝を除く						

- ※1 試験日は3日間のうちから複数日の受験が可能です。受験日は出願時に申請してください。
- ※2 試験場については、「アクセスマップ」を参照してください。
- ※3 学部・学科・専修により定められた「出題科目」および「科目選択の方法」に従い、試験時間内に2教科2科目を選択し、解答してください。
- ※4 試験時間内の時間配分は自由です。



### 3. 出願科目・選抜方法

- 一般入試A（2教科型）では学力試験および出願書類によって選抜します。
- 一般入試A（プラスセンター型）では学力試験（本学個別試験と「平成30年度大学入試センター試験」のうち本学が利用する教科の得点の合計）と出願書類によって選抜します。
- 解答は全学部マークシート方式で行います。
- 解答科目は当日試験場において選択してください。
- 平均点を考慮して得点調整を行うことがあります。

#### 一般入試A（2教科型）

学部・学科・専修		教科	科目選択の方法	配点	満点
生活科学部	管理栄養学科	国語	「数学」または「理科」 1教科1科目を含む 2教科2科目を選択	各100点	各科目の得点を 偏差値に換算し ます。
		数学			
		理科			
		外国語			
	生活環境デザイン学科	国語	2教科2科目を選択	各100点	
		地理歴史			
数学					
理科					
国際 コミュニケーション学部 〔学部内第2志望 制度あり〕	国際言語 コミュニケーション学科	国語	1教科1科目を選択	各100点	200点
		地理歴史			
		数学			
		理科			
	表現文化学科	外国語	必須	各100点	
		国語	「国語」または「外国語」 1教科1科目を含む 2教科2科目を選択		
		地理歴史			
		数学			
		理科			
		外国語			
人間関係学部	人間関係学科 心理学科	国語		2教科2科目を選択	各100点
		地理歴史			
		数学			
		理科			
		外国語			
文化情報学部	文化情報学科 メディア情報学科	国語	2教科2科目を選択	各100点	
		地理歴史			
		数学			
		理科			
		外国語			
現代マネジメント学部	現代マネジメント学科	国語	2教科2科目を選択	各100点	
		地理歴史			
		数学			
		理科			
		外国語			
教育学部	子ども発達学科 保育・初等教育専修 初等中等教育専修	国語	1教科1科目を選択	各100点	
		地理歴史			
		数学			
		理科			
		外国語	必須		

#### [出題科目・範囲]

	教科	出題科目・範囲
本学 個別試験	国語	「国語総合・現代文B・古典B」（漢文は含まず、現代文と古文はどちらか選択可能）【注1】
	地理歴史	「世界史B」「日本史B」から1科目
	数学	「数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B」（数学Ⅰ・数学Aと数学Ⅱ・数学Bはどちらか選択可能）【注2】
	理科	「化学基礎」「生物基礎」から1科目
	外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ」（リスニングを課さない）

#### [注記事項]

【注1】「国語」は一部の問題で「現代文」と「古文」のどちらかを選択し解答してください。「漢文」の出題はありません。

【注2】「数学」は一部の問題で「数学Ⅰ・数学A（場合の数と確率・図形の性質）」と「数学Ⅱ・数学B（数列・ベクトル）」のどちらかを選択し解答してください。なお、「数学Ⅰ」の範囲から数の理論に関連する出題の可能性がります。

## 一般入試A(プラスセンター型)

学部・学科・専修		教科	科目選択の方法	配点	満点
生活科学部	管理栄養学科	国 語	〔本学個別試験〕 「数学」または「理科」 1教科1科目を含む 2教科2科目を選択	各100点	300点
		数 学			
理 科					
外 国 語					
		大学入試センター試験 「国語」【注3】「数学」「理科」 「外国語」(「英語」リスニングを 課す)	〔大学入試センター試験〕 高得点の1科目を採用【注4】ただし、本 学個別試験で選択した教科は採用しない。 ※本学個別試験で「理科」を選択した場 合は、大学入試センター試験「理科」の うち「化学」または「生物」が最高得点の 場合に限り採用可能		
	生活環境デザイン 学科	国 語	〔本学個別試験〕 2教科2科目を選択	各100点	300点
		地理歴史			
数 学					
理 科					
		外 国 語			
		大学入試センター試験 「国語」【注3】「地理歴史」「公民」 「数学」「理科」「外国語」(「英語」 リスニングを課す)	〔大学入試センター試験〕 高得点の1科目を採用【注4】ただし、 本学個別試験で選択した教科は採用しな い。【注5】		
国際 コミュニケーション 学部	国際言語 コミュニケーション学科	国 語	〔本学個別試験〕 1教科1科目を選択	各100点	300点
		地理歴史			
数 学					
理 科					
		外 国 語	〔本学個別試験〕必須		
		大学入試センター試験 「国語」【注3】「地理歴史」「公民」 「数学」「理科」	〔大学入試センター試験〕 高得点の1科目を採用【注4】ただし、 本学個別試験で選択した教科は採用しな い。【注5】		
	表現文化学科	国 語	〔本学個別試験〕 「国語」または「外国語」 1教科1科目を含む 2教科2科目を選択	各100点	300点
		地理歴史			
数 学					
理 科					
		外 国 語			
		大学入試センター試験 「国語」【注3】「地理歴史」「公民」 「数学」「理科」「外国語」(「英語」 採用の場合はリスニングを課す)	〔大学入試センター試験〕 高得点の1科目を採用【注4】ただし、 本学個別試験で選択した教科は採用しな い。【注5】		
人間関係学部	人間関係学科 心理学科	国 語	〔本学個別試験〕 2教科2科目を選択	各100点	300点
		地理歴史			
数 学					
理 科					
		外 国 語			
		大学入試センター試験 「国語」【注3】「地理歴史」「公民」 「数学」「理科」「外国語」(「英語」 採用の場合はリスニングを課す)	〔大学入試センター試験〕 高得点の1科目を採用【注4】ただし、 本学個別試験で選択した教科は採用しな い。【注5】		
文化情報学部	文化情報学科 メディア情報学科	国 語	〔本学個別試験〕 2教科2科目を選択	各100点	300点
		地理歴史			
数 学					
理 科					
		外 国 語			
		大学入試センター試験 「国語」【注3】「地理歴史」「公民」 「数学」「理科」「外国語」(「英語」 採用の場合はリスニングを課す)	〔大学入試センター試験〕 高得点の1科目を採用【注4】ただし、 本学個別試験で選択した教科は採用しな い。【注5】		

学部・学科・専修		教科	科目選択の方法	配点	満点
現代マネジメント学部	現代マネジメント学科	国 語	〔本学個別試験〕 2教科2科目を選択	各100点	300点
		地理歴史			
		数 学			
		理 科			
		外 国 語			
		大学入試センター試験 「国語」【注3】「地理歴史」「公民」 「数学」「理科」「外国語」(「英語」 リスニングを課す)	〔大学入試センター試験〕 高得点の1科目を採用【注4】ただし、 本学個別試験で選択した教科は採用しな い。【注5】		
教育学部	子ども発達学科 保育・初等教育専修 初等中等教育専修	国 語	〔本学個別試験〕 1教科1科目を選択	各100点	300点
		地理歴史			
		数 学			
		理 科			
		外 国 語			
		大学入試センター試験 「国語」【注3】「地理歴史」「公民」 「数学」「理科」	〔大学入試センター試験〕 高得点の1科目を採用【注4】ただし、本 学個別試験で選択した教科は採用しな い。【注5】		
看護学部	看護学科	国 語	〔本学個別試験〕 1教科1科目を選択	各100点	300点
		数 学			
		理 科			
		外 国 語			

[出題科目・利用科目・範囲]

	教科	出題科目・利用科目・範囲
本学 個別試験	国 語	「国語総合・現代文B・古典B」(漢文は含まず、現代文と古文はどちらか選択可能)【注1】
	地理歴史	「世界史B」「日本史B」から1科目
	数 学	「数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B」(数学Ⅰ・数学Aと数学Ⅱ・数学Bはどちらか選択可能)【注2】
	理 科	「化学基礎」「生物基礎」から1科目
	外 国 語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ」(リスニングを課さない)
大学入試センター試験		「平成30年度大学入試センター試験」のうち本学が利用する教科の科目は、本学センター利用入試Aの科目に準じます。

[注記事項]

- 【注1】本学個別試験「国語」は一部の問題で「現代文」と「古文」のどちらかを選択し解答してください。「漢文」の出題はありません。
- 【注2】本学個別試験「数学」は一部の問題で「数学Ⅰ・数学A(場合の数と確率・図形の性質)」と「数学Ⅱ・数学B(数列・ベクトル)」のどちらかを選択し解答してください。なお、「数学Ⅰ」の範囲から数の理論に関連する出題の可能性がります。
- 【注3】大学入試センター試験「国語」は近代以降の文章、古典(古文・漢文)全てを利用します。
- 【注4】大学入試センター試験において、「理科」基礎を付した科目を採用した場合は2科目を用いて1科目となります。
- 【注5】一般入試A(プラスセンター型)では、本学個別試験において「地理歴史」を選択解答した場合、大学入試センター試験「地理歴史」「公民」から出題された科目は採用しません。

## 4. 奨学金

看護学部では、一般入試Aでの成績上位者に給付する、独自の奨学金制度を用意しています。なお、複数日出願する場合でも、申請は1回です。

<b>給付型</b>	対 象：入学試験(一般入試A)の成績が優秀である者(8名以内)
<b>奨学金 A</b>	給付額：年額60万円 ※返済を要しません。
	期 間：最長4年 ※2年次以降は、前年度の学業成績が上位であることを条件とします。
	手続き：①希望の方は、出願時に申請。
	②選考の結果、奨学生として採択された場合、合格通知書とともに通知。 ③別に通知する期日までに、所定の手続きを行う。

看護学部では、上記奨学金以外にも奨学金B(第2年次以降を対象、学年ごとに6名以内、給付額年額36万円、奨学金A受給者以外)を用意しています。その他、愛知県看護修学資金、各病院などの奨学金制度をご案内する予定です。

# 2

## 一般入試B(1教科型・プラスセンター型・2教科型)

- 最大で3学部まで併願可能です。出願した学部内の別学科・専修への学部内第2志望制度も実施しています。
- 出願時に第1希望とする学科申請が必要です。
- 第1希望学科が合格の場合、そのほかの出願した学部の合否判定は実施しません。第1希望学科が不合格の場合、その他出願する学部の全ての合否判定を実施します。
- 一般入試B(小論文型)との併願ができます。(それぞれの入学検定料が必要)

### 1. 募集人員

学部・学科・専修		募集人員		
		1教科型	プラスセンター型	2教科型
生活科学部	管理栄養学科	—	1名	—
	生活環境デザイン学科	3名	—	—
国際コミュニケーション学部	国際言語コミュニケーション学科	4名	—	—
	表現文化学科	3名	—	—
人間関係学部	人間関係学科	5名	—	—
	心理学科	5名	—	—
文化情報学部	文化情報学科	6名	—	—
	メディア情報学科	4名	—	—
現代マネジメント学部	現代マネジメント学科	5名	—	2名
教育学部	子ども発達学科/保育・初等教育専修	3名	—	3名
	子ども発達学科/初等中等教育専修	2名	—	3名
看護学部	看護学科	—	—	4名

### 2. 入試日程・試験場

出願期間	郵送 平成30年2月13日(火)～2月22日(木) 締切日消印有効 窓口受付 平成30年2月13日(火)～2月23日(金) 入学センター 【窓口受付時間】平日9時～17時、土曜日9時～13時、最終日のみ9時～13時 ※日祝を除く	
試験日および試験場	平成30年3月3日(土) 星が丘キャンパス	
合格発表日 P.21参照	平成30年3月9日(金) 10:00	
入学手続 P.22参照	第1次入学手続 (入学金)	200,000円 納付期限 平成30年3月16日(金) 銀行窓口にて振込
	第2次入学手続 (書類提出)	郵送 平成30年3月12日(月)～3月23日(金) 締切日消印有効 窓口受付 平成30年3月12日(月)～3月24日(土) 入学センター 【窓口受付時間】平日9時～17時、土曜日9時～13時、 最終日のみ9時～15時 ※日祝を除く

### 3. 試験時間

入室時間	教科	試験時間
9:30まで	数 学	9:50～11:20
12:40まで	外国語	13:00～14:30
15:10まで	国 語	15:30～17:00

※解答する教科は出願時に申請が必要です。  
 ※出願後の解答教科の追加や変更は一切認められません。  
 ※複数の教科で解答した場合、合否判定には得点の高い順に採用します。ただし、必須教科についてはこの限りではありません。

#### 4. 選抜方法

- 一般入試B（1教科型）（2教科型）では学力試験および出願書類によって選抜します。
- 一般入試B（プラスセンター型）では学力試験（本学個別試験と「平成30年度大学入試センター試験」のうち本学が利用する「理科」の得点の合計）と出願書類によって選抜します。
- 解答は全学部マークシート方式で行います。
- 解答する教科は出願時に申請してください。
- 平均点を考慮して得点調整を行うことがあります。

##### 一般入試B（1教科型）

学部・学科・専修		教科	科目選択の方法	配点	満点
生活科学部	生活環境デザイン学科	国 語	1教科を選択	各100点	100点
		数 学			
		外 国 語			
国際コミュニケーション学部	国際言語コミュニケーション学科	外 国 語	必須	100点	100点
	表現文化学科	国 語	1教科を選択	各100点	100点
	外 国 語				
人間関係学部	人間関係学科 心理学科	国 語	1教科を選択	各100点	100点
		数 学			
		外 国 語			
文化情報学部	文化情報学科 メディア情報学科	国 語	1教科を選択	各100点	100点
		数 学			
		外 国 語			
現代マネジメント学部	現代マネジメント学科	国 語	1教科を選択	各100点	100点
		数 学			
		外 国 語			
教育学部	子ども発達学科 保育・初等教育専修 初等中等教育専修	国 語	1教科を選択	各100点	100点
		数 学			
		外 国 語			

##### 一般入試B（プラスセンター型）

学部・学科	教科	科目選択の方法	配点	満点	
生活科学部	管理栄養学科	国 語	1教科を選択	各100点	200点
		数 学			
		外 国 語			
		大学入試センター試験 理 科	必須【注3】		

##### 一般入試B（2教科型）

学部・学科・専修	教科	科目選択の方法	配点	満点	
現代マネジメント学部	現代マネジメント学科	国 語	2教科を選択	各100点	200点
		数 学			
		外 国 語			
教育学部	子ども発達学科 保育・初等教育専修 初等中等教育専修	国 語	2教科を選択	各100点	200点
		数 学			
		外 国 語			
看護学部	看護学科	国 語	1教科を選択	各100点	200点
		数 学			
		外 国 語	必須		

##### [出題科目・利用科目・範囲]

	教科	出題科目・利用科目・範囲
本学 個別試験	国 語	「国語総合・現代文B・古典B」（漢文は含まず、現代文と古文はどちらか選択可能）【注1】
	数 学	「数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B」（数学Ⅰ・数学Aと数学Ⅱ・数学Bはどちらか選択可能）【注2】
	外 国 語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ」（リスニングを課さない）
大学入試センター試験	理 科	大学入試センター試験 「化学基礎」と「生物基礎」の2科目または「化学」「生物」から1科目

##### [注記事項]

【注1】「国語」は一部の問題で「現代文」と「古文」のどちらかを選択し解答してください。「漢文」の出題はありません。

【注2】「数学」は一部の問題で「数学Ⅰ・数学A（場合の数と確率・図形の性質）」と「数学Ⅱ・数学B（数列・ベクトル）」のどちらかを選択し解答してください。なお、「数学Ⅰ」の範囲から数の理論に関連する出題の可能性あります。

【注3】生活科学部管理栄養学科の「理科」は高得点の1科目を採用します。「理科」基礎を付した科目を採用した場合は、2科目を用いて1科目となります。

# 3

## 一般入試B（小論文型）

- 一般入試B（1教科型・プラスセンター型・2教科型）との併願ができます。（それぞれの入学検定料が必要）

### 1. 募集人員

学部・学科		募集人員
国際コミュニケーション学部	表現文化学科	3名

### 2. 入試日程・試験場・試験時間

出願期間	郵送 平成30年2月13日(火)～2月22日(木) 締切日消印有効 窓口受付 平成30年2月13日(火)～2月23日(金) 入学センター <b>【窓口受付時間】</b> 平日9時～17時、土曜日9時～13時、最終日のみ9時～13時 ※日祝を除く		
試験日・試験場 および試験時間	平成30年3月5日(月) 星が丘キャンパス	入室時間	10:10まで
		試験時間	10:30～12:00
合格発表日 P.21参照	平成30年3月9日(金)	10:00	
入学手続 P.22参照	第1次入学手続 (入学金)	200,000円 納付期限 平成30年3月16日(金)	銀行窓口にて振込
	第2次入学手続 (書類提出)	郵送 平成30年3月12日(月)～3月23日(金) 締切日消印有効 窓口受付 平成30年3月12日(月)～3月24日(土) 入学センター <b>【窓口受付時間】</b> 平日9時～17時、土曜日9時～13時、 最終日のみ9時～15時 ※日祝を除く	

### 3. 選抜方法

小論文および出願書類によって選抜します。

学部・学科		出題科目	科目選択の方法	配点	満点
国際 コミュニケーション学部	表現文化学科	小論文	必須	100点	100点



## 4

## センター利用入試A

## 1. 募集人員

学部・学科・専修		募集人員		
		2教科型	3教科型	5教科型
生活科学部	管理栄養学科	13名	—	—
	生活環境デザイン学科	—	10名	—
国際コミュニケーション学部	国際言語コミュニケーション学科	3名	—	—
	表現文化学科	2名	—	—
人間関係学部	人間関係学科	3名	—	—
	心理学科	3名	—	—
文化情報学部	文化情報学科	5名	—	—
	メディア情報学科	4名	—	—
現代マネジメント学部	現代マネジメント学科	—	10名	—
教育学部	子ども発達学科／保育・初等教育専修	—	2名	—
	子ども発達学科／初等中等教育専修	—	2名	2名
看護学部	看護学科	—	4名	—

## 2. 入試日程

出願期間	郵送 平成30年1月5日(金)～1月26日(金) 締切日消印有効 窓口受付 平成30年1月5日(金)～1月27日(土) 入学センター 【窓口受付時間】平日9時～17時、土曜日9時～13時 ※日祝を除く	
試験日および試験場	本学個別試験は実施しません。	
合格発表日 P.21参照	平成30年2月13日(火) 10:00	
入学手続 P.22参照	第1次入学手続 (入学金)	200,000円 納付期限 平成30年2月22日(木) 銀行窓口にて振込
	第2次入学手続 (書類提出)	郵送 平成30年3月12日(月)～3月23日(金) 締切日消印有効 窓口受付 平成30年3月12日(月)～3月24日(土) 入学センター 【窓口受付時間】平日9時～17時、土曜日9時～13時、 最終日のみ9時～15時 ※日祝を除く

### 3. 利用科目・選抜方法

- 「平成30年度大学入試センター試験」のうち、本学が利用する教科・科目の得点と出願書類によって選抜します。
- 本学の個別試験は実施しません。
- 国語および外国語の教科については、大学入試センター試験の配点を以下のとおり換算します。  
なお、外国語「英語」の配点については、p.16を参照してください。

#### センター利用入試A(2教科型)

学部・学科		教科	利用科目	科目選択の方法	配点	満点
生活科学部	管理栄養学科	理 科	「化学基礎」と「生物基礎」の2科目 または「化学」「生物」から1科目	必須 【注2】【注3】	各100点	200点
		国 語	【国語】【注1】	高得点の1教科 1科目を採用		
		数 学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」から 1科目			
		外国語	【英語】(リスニングを課す)			
国際 コミュニケーション学部	国際言語 コミュニケーション 学科	国 語	【国語】【注1】	高得点の1教科 1科目を採用 【注2】	各100点	300点
		地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目			
		公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目			
		数 学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」から 1科目			
		理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目			
	外国語	【英語】(リスニングを課す)【ドイツ語】【フランス語】から1科目	必須	200点		
	表現文化学科	国 語	【国語】【注1】	高得点の2教科 2科目を採用 【注2】 ただし「国語」 または「外国語」 のどちらか一方 が必須	各100点	200点
		地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目			
		公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目			
		数 学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」から 1科目			
理 科		「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目				
外国語	【英語】(リスニングを課す)【ドイツ語】【フランス語】から1科目					
人間関係学部	人間関係学科 心理学科	国 語	【国語】【注1】	高得点の2教科 2科目を採用 【注2】 ただし、「地理 歴史」と「公民」 はどちらか一方 のみを採用	各100点	200点
		地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目			
		公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目			
		数 学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」から 1科目			
		理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目			
		外国語	【英語】(リスニングを課す)【ドイツ語】【フランス語】【中国語】 【韓国語】から1科目			
文化情報学部	文化情報学科 メディア情報学科	国 語	【国語】【注1】	高得点の2教科 2科目を採用 【注2】 ただし、「地理 歴史」と「公民」 はどちらか一方 のみを採用	各100点	200点
		地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目			
		公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目			
		数 学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「簿記・ 会計」「情報関係基礎」から1科目			
		理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目			
		外国語	【英語】(リスニングを課す)【中国語】から1科目			

## センター利用入試A(3教科型)

学部・学科・専修		教科	利用科目	科目選択の方法	配点	満点
生活科学部	生活環境デザイン学科	国語	『国語』【注1】	高得点の3教科3科目を採用【注2】ただし、「地理歴史」と「公民」はどちらか一方のみを採用	各100点	300点
		地理歴史	『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』から1科目			
		公民	『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』から1科目			
		数学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ』『数学Ⅱ・数学B』から1科目			
		理科	『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目または『物理』『化学』『生物』『地学』から1科目			
		外国語	『英語』（リスニングを課す）			
現代マネジメント学部	現代マネジメント学科	国語	『国語』【注1】	高得点の3教科3科目を採用【注2】	各100点	300点
		地理歴史	『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』から1科目			
		公民	『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』から1科目			
		数学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ』『数学Ⅱ・数学B』から1科目			
		理科	『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目または『物理』『化学』『生物』『地学』から1科目			
		外国語	『英語』（リスニングを課す）			
教育学部	子ども発達学科 保育・初等教育専修 初等中等教育専修	国語	『国語』【注1】	高得点の2教科2科目を採用【注2】ただし、「地理歴史」と「公民」はどちらか一方のみを採用	各100点	300点
		地理歴史	『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』から1科目			
		公民	『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』から1科目			
		数学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ』『数学Ⅱ・数学B』から1科目			
		理科	『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目または『物理』『化学』『生物』『地学』から1科目			
		外国語	『英語』（リスニングを課す）	必須		
看護学部	看護学科	国語	『国語』【注1】	高得点の2教科2科目を採用【注2】	各100点	300点
		数学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ』『数学Ⅱ・数学B』から1科目			
		理科	『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目または『物理』『化学』『生物』『地学』から1科目			
		外国語	『英語』（リスニングを課す）	必須		

## センター利用入試A(5教科型)

学部・学科・専修		教科	利用科目	科目選択の方法	配点	満点
教育学部	子ども発達学科 初等中等教育専修	国語	『国語』【注1】	高得点の4教科4科目を採用【注2】ただし、「地理歴史」と「公民」はどちらか一方のみを採用	各100点	500点
		地理歴史	『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』から1科目			
		公民	『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』から1科目			
		数学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ』『数学Ⅱ・数学B』から1科目			
		理科	『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』から2科目または『物理』『化学』『生物』『地学』から1科目			
		外国語	『英語』（リスニングを課す）			

【注記事項】

【注1】 大学入試センター試験「国語」は近代以降の文章、古典（古文・漢文）全てを利用します。

【注2】 大学入試センター試験において、「理科」基礎を付した科目を採用した場合は2科目を用いて1科目となります。

【注3】 生活科学部管理栄養学科の「理科」は高得点の1科目を採用します。

「 」内記載のものは、二つの科目を総合したもの又は二つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目となります。

## 4. 外国語「英語」の配点について

- ①国際コミュニケーション学部を除く学部では、筆記試験（200点満点を80点満点に換算）とリスニングテスト（50点満点を20点満点に換算）の合計得点を100点満点として換算します。
- ②国際言語コミュニケーション学科では、筆記試験（200点満点を140点満点に換算）とリスニングテスト（50点満点を60点満点に換算）の合計得点を200点満点として換算します。
- ③表現文化学科では、筆記試験（200点満点を70点満点に換算）とリスニングテスト（50点満点を30点満点に換算）の合計得点を100点満点として換算します。

## 5

## センター利用入試B

## 1. 募集人員

学部・学科・専修		募集人員	
		2教科型	3教科型
生活科学部	管理栄養学科	1名	—
	生活環境デザイン学科	2名	—
国際コミュニケーション学部	国際言語コミュニケーション学科	2名	—
	表現文化学科	1名	—
人間関係学部	人間関係学科	3名	—
	心理学科	3名	—
文化情報学部	文化情報学科	2名	—
	メディア情報学科	2名	—
現代マネジメント学部	現代マネジメント学科	3名	—
教育学部	子ども発達学科／保育・初等教育専修	1名	—
	子ども発達学科／初等中等教育専修	—	2名
看護学部	看護学科	1名	—

## 2. 入試日程

出願期間	郵送 平成30年2月13日(火)～2月23日(金) 締切日消印有効 窓口受付 平成30年2月13日(火)～2月24日(土) 入学センター 【窓口受付時間】平日9時～17時、土曜日9時～13時 ※日祝を除く	
試験日および試験場	本学個別試験は実施しません。	
合格発表日 P.21参照	平成30年3月9日(金) 10:00	
入学手続 P.22参照	第1次入学手続 (入学金)	200,000円 納付期限 平成30年3月16日(金) 銀行窓口にて振込
	第2次入学手続 (書類提出)	郵送 平成30年3月12日(月)～3月23日(金) 締切日消印有効 窓口受付 平成30年3月12日(月)～3月24日(土) 入学センター 【窓口受付時間】平日9時～17時、土曜日9時～13時、 最終日のみ9時～15時 ※日祝を除く

### 3. 利用科目・選抜方法

- 「平成30年度大学入試センター試験」のうち、本学が利用する教科・科目の得点と出願書類によって選抜します。
- 本学の個別試験は実施しません。
- 国語および外国語の教科については、大学入試センター試験の配点を以下のとおり換算します。  
なお、外国語「英語」の配点については、p.19を参照してください。

#### センター利用入試B

学部・学科・専修		教科	利用科目	科目選択の方法	配点	満点
生活科学部	管理栄養学科	理 科	「化学基礎」と「生物基礎」の2科目 または「化学」「生物」から1科目	必須	各100点	200点
		国 語	『国語』【注1】	高得点の1教科 1科目を採用		
		数 学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」から 1科目			
		外国語	『英語』（リスニングを課す）			
	生活環境デザイン 学科	国 語	『国語』【注1】	高得点の2教科 2科目を採用 【注2】 ただし、「地理 歴史」と「公民」 はどちらか一方 のみを採用	各100点	200点
		地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目			
		公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目			
		数 学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」から 1科目			
		理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目			
		外国語	『英語』（リスニングを課す）			
国際 コミュニケーション 学部	国際言語 コミュニケーション 学科	国 語	『国語』【注1】	高得点の1教科 1科目を採用 【注2】	各100点	200点
		地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目			
		公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目			
		数 学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」から 1科目			
		理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目			
		外国語	『英語』（リスニングを課す）』『ドイツ語』『フランス語』から1科目			
	表現文化学科	国 語	『国語』【注1】	高得点の2教科 2科目を採用 【注2】 ただし「国語」 または「外国語」 のどちらか一方 が必須	各100点	200点
		地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目			
		公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目			
		数 学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」から 1科目			
		理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目			
		外国語	『英語』（リスニングを課す）』『ドイツ語』『フランス語』から1科目			
人間関係学部	人間関係学科 心理学科	国 語	『国語』【注1】	高得点の2教科 2科目を採用 【注2】 ただし、「地理 歴史」と「公民」 はどちらか一方 のみを採用	各100点	200点
		地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目			
		公 民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目			
		数 学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」から 1科目			
		理 科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目			
		外国語	『英語』（リスニングを課す）』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』 『韓国語』から1科目			

学部・学科・専修		教科	利用科目	科目選択の方法	配点	満点
文化情報学部	文化情報学科 メディア情報学科	国語	『国語』【注1】	高得点の2教科 2科目を採用 【注2】 ただし、「地理 歴史」と「公民」 はどちらか一方 のみを採用	各100点	200点
		地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目			
		公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目			
		数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」 『簿記・会計』『情報関係基礎』から1科目			
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目			
		外国語	『英語』（リスニングを課す）『中国語』から1科目			
現代マネジメント 学部	現代マネジメント 学科	国語	『国語』【注1】	高得点の2教科 2科目を採用 【注2】 ただし、「国語」 「数学」「外国語」 のいずれかを含 むこと	各100点	200点
		地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目			
		公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目			
		数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」から 1科目			
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目			
		外国語	『英語』（リスニングを課す）			
教育学部	子ども発達学科 保育・初等教育専修	国語	『国語』【注1】	高得点の2教科 2科目を採用 【注2】 ただし、「地理 歴史」と「公民」 はどちらか一方 のみを採用	各100点	200点
		地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目			
		公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目			
		数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」から 1科目			
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目			
		外国語	『英語』（リスニングを課す）			
	子ども発達学科 初等中等教育専修	国語	『国語』【注1】	高得点の2教科 2科目を採用 【注2】 ただし、「地理 歴史」と「公民」 はどちらか一方 のみを採用	各100点	300点
		地理歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目			
		公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目			
		数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」から 1科目			
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目			
		外国語	『英語』（リスニングを課す）			
看護学部	看護学科	国語	『国語』【注1】	高得点の2教科 2科目を採用 【注2】	各100点	200点
		数学	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」から 1科目			
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目 または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目			
		外国語	『英語』（リスニングを課す）			

【注記事項】

【注1】 大学入試センター試験「国語」は近代以降の文章、古典（古文・漢文）全てを利用します。

【注2】 大学入試センター試験において、「理科」基礎を付した科目を採用した場合は2科目を用いて1科目となります。

『 』内記載のものは、二つの科目を総合したもの又は二つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目となります。

#### 4. 外国語「英語」の配点について

- ①国際コミュニケーション学部を除く学部では、筆記試験（200点満点を80点満点に換算）とリスニングテスト（50点満点を20点満点に換算）の合計得点を100点満点として換算します。
- ②国際コミュニケーション学部では、筆記試験（200点満点を70点満点に換算）とリスニングテスト（50点満点を30点満点に換算）の合計得点を100点満点として換算します。



# 6

## 受験上の注意

### 1. 受験票・写真票について

p.5「受験票・写真票」を参照してください。

### 2. 試験当日の遅刻について

- (1) 試験開始時刻より、30分以上遅刻した場合は受験できません。
- (2) 時間には十分余裕をもって来学するようにしてください（公共交通機関の障害、天候等による理由の場合は、特別の措置をとることがあります）。
- (3) 試験開始の前に、出欠の確認を行います。入室時間までに集合してください。遅刻したときには直ちに係員に申し出てください。

### 3. 試験当日の試験場への入退場について

- (1) 試験中の途中退場はできません。
- (2) 受験者以外の方は、試験が実施される校舎への入場ができません。星が丘キャンパス試験場に付き添われた保護者の方には「保護者控室」を用意しています。

### 4. 筆記用具等について

- (1) 解答には、黒鉛筆（H、F、HBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。）とプラスチック製消しゴムを使用してください。シャープペンシルはメモや計算に使用する場合のみ使用可能とし黒い芯に限りませす。指定した筆記用具以外のものを使用した場合には、解答が正しく読み取れないおそれがあります。
- (2) 試験時間中、机の上に置けるものは、黒鉛筆、シャープペンシル、プラスチック製消しゴム、受験票・写真票の他に、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く）、時計（ウェアラブル端末（スマートウォッチ、スマートグラス等）・辞書や電卓等の機能があるもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）、目薬です。
- (3) 試験室において、携帯電話等の電子機器類は、必ずアラームの設定を解除してから電源を切り、かばん等にしまってください。

### 5. 上履きについて

試験室への入室にあたり、上履きを用意する必要はありません。

### 6. 飲食について

飲食等を必要とする受験者は、各自用意するようにしてください。試験室での飲食はできませんので、飲食をする際は、係員に申し出てください。

### 7. 受験上特別な配慮を必要とする方へ

身体に障害がある等の理由により、受験上の配慮を希望する志願者には、事前相談を随時、受け付けています。できるだけ早めに入学センターにお問い合わせください。

### 8. 試験当日の駐車場について

試験場には駐車場がありませんので、電車・バス等の公共交通機関を利用してください。

### 9. 試験場の下見について

試験の前日まで校舎の確認はできますが、試験室の下見はできません。

# 7

## 合格発表・合否案内サービス

### 合格発表

1. 合格発表日に、合格者には合格通知書および入学手続き書類（簡易書留速達）を本学星が丘キャンパスから発送します。地域によっては、到着までに2～3日かかる場合があります。
2. 不合格者には、郵送による通知はしません。
3. 本学への問い合わせによる合否の照会には一切応じられません。
4. 本学での掲示発表はおこないません。
5. 氏名に旧字体などが含まれている場合は、合格通知書などの表記を常用漢字の代替文字またはカタカナにて対応することがあります。また、一部字体が変更される場合がありますので、ご了承ください。
6. インターネット・電話による「合否案内サービス」でも確認できます。ただし、「合格通知書」をもって正式な合格の通知とします。
7. 一部の学科では、合格発表と同時に補欠者へ「補欠通知」を発送します。合格者の入学手続き状況により、入学者の欠員が生じた場合、補欠者のうち高順位の者から繰り上げて合格とすることがあります。該当する受験者に対し、合格通知書および入学手続き書類（簡易書留速達）を発送します。
8. 合格者の入学手続き状況により、追加合格を発表することがあります。該当する受験者に対し、合格通知書および入学手続き書類（簡易書留速達）を発送します。

### 合否案内サービス

インターネット・電話により、合否結果を早く照会できるシステムです。合格は、「合格通知書」をもって正式なものとしてします。

インターネット

<http://www.gouhi.com/sugiyama/>

電話

052-456-0148

合否案内サービスの利用には受験番号と誕生日が必要となります。

#### 〈利用上の注意点〉

1. 合格発表当日から3日間利用できます。合格発表当日は10：00～、2日目・3日目は24時間利用できます。
2. 受験者個人の情報（受験番号など）に関する問い合わせについてはお答えできません。
3. サービス開始直後は混み合うため、つながりにくい場合があります。
4. 本サービスの「誤操作」「見間違い・聞き違い」などを理由とした、入学手続き締切日以後の入学手続きは認めません。

# 8

## 入学手続について

### 1. 入学手続

入学手続は、第1次入学手続と第2次入学手続による2段階方式となります。入学手続の期日は厳守してください。各期の所定の期日までに入学手続が完了しない場合、入学を許可しません。

#### ●第1次入学手続（入学金の納付）

**200,000円**

合格発表後、所定の期日までに入学金を納付してください。

※一旦納付された入学金は、いかなる理由においても返還いたしません。

#### ●第2次入学手続（入学手続・学籍登録書類の提出）

所定の期日までに本学が指定する入学手続書類を「簡易書留速達」にて郵送、または窓口へ提出してください。

#### 【注意】

第1次入学手続と第2次入学手続の両手続を行うことによって入学手続の完了となります。

第1次入学手続期間と第2次入学手続期間は手続時期が異なりますのでご注意ください。

### 2. 入学金の振替

異なる入試区分で複数の学科・専修にわたって合格した場合、重複して入学金を納付することがないように、入学金の振替を受け付けています。

### 3. 入学検定料の返還について

いったん納付された入学検定料は、原則として返還いたしません。が、出願しなかった場合または二重に納付した場合に限り、返還請求ができます。

該当する方は必ず入学センターへ事前連絡のうえ、本学指定の書式にて簡易書留速達にて送付してください。

なお、期日までに書類の提出がない場合は、返還請求がなかったものとして取り扱います。

返還請求期日：入試区分により異なる（要問い合わせ・出願入試区分の出願締切日消印有効）

返 還 予 定 日：平成30年3月末

請 求 書 式：本学「入試情報サイト」内の学生募集要項・全入試区分共通 参照

<http://nyushi.sugiyama-u.ac.jp/annai/bosyuyoko/>

事前連絡および提出先：〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町17-3

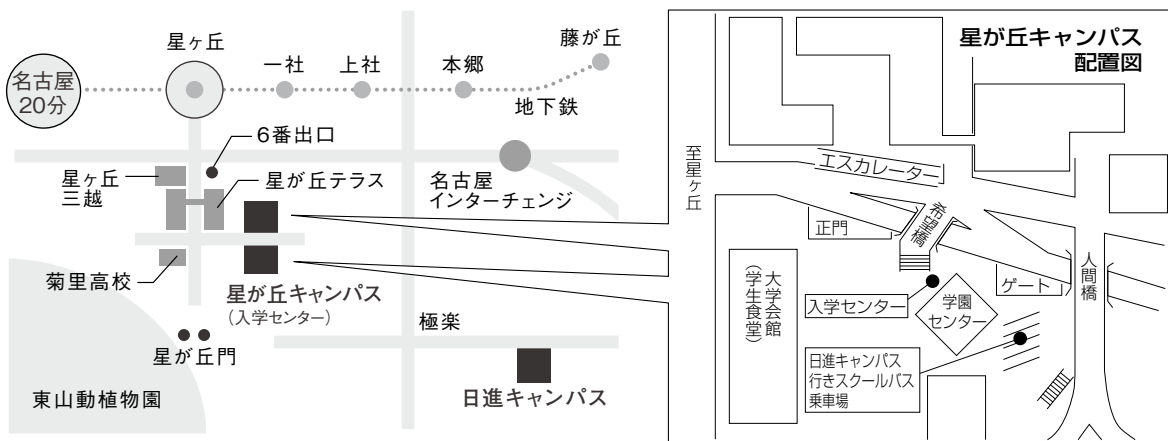
椋山女学園大学 入学センター（0120-244-887）

### 4. 入学の辞退について

第2次入学手続を完了したあと、やむをえない理由で入学を辞退する場合は、入学センターまでご連絡ください。その後、その旨を文書にて申し出てください。その際、文書の日付は平成30年3月31日までとし、平成30年3月31日までに入学センターに到着するようにしてください。

## アクセスマップ

本学には駐車場がありませんので、来学の際は、公共交通機関をご利用ください。



### 星が丘キャンパス 名古屋市千種区星が丘元町17-3

■地下鉄 地下鉄東山線「星ヶ丘」下車、6番出口より徒歩5分

### 日進キャンパス 愛知県日進市竹の山3丁目2005番地

■地下鉄・市バス 地下鉄東山線「本郷」から市バス「猪高緑地」行き、  
 終点下車、徒歩4分(合計20分)  
 ■スクールバス 無料スクールバスで、星が丘キャンパスから15分  
 または地下鉄鶴舞線「赤池」から20分

## 学外試験場

### 浜松試験場

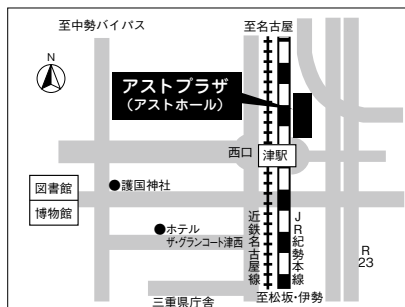
会場名：アクトタワー (25F)  
 所在地：静岡県浜松市中区板屋町111-1



JR「浜松駅」徒歩5～10分  
 遠鉄「新浜松駅」徒歩5～10分

### 津試験場

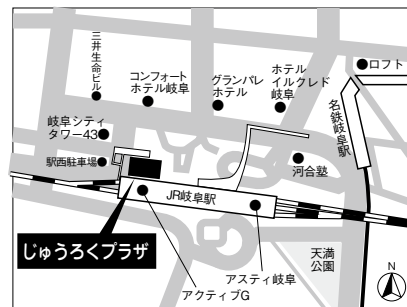
会場名：アストプラザ (アストホール) (4F)  
 所在地：三重県津市羽所町700



JR・近鉄「津駅」東口 徒歩1分

### 岐阜試験場

会場名：じゅうろくプラザ (5F)  
 所在地：岐阜県岐阜市橋本町1-10-11



JR「岐阜駅」北口 徒歩2分  
 名鉄「名鉄岐阜駅」JR岐阜駅方面に徒歩7分

## 入学に関するお問い合わせ先

### 椋山女学園大学 入学センター

〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町17-3  
 入学相談フリーダイヤル ☎ 0120-244-887  
 E-mail happy@sugiyama-u.ac.jp  
 U R L http://www.sugiyama-u.ac.jp